

# 県民の みなさんへ

熊本県知事  
細川護熙



明けましておめでとうございませう。県民の皆様には御家族お揃いでよい新春をお迎えのこととお慶びいたします。

昨年は、県政発展のため暖かい御理解とお力添えを頂き誠に有難うございました。お陰様で昨年は、先端技術産業を中心とする企業の立地も順調に進み、農林水産業においても厳しいなかにも将来に向けての希望の芽というべきものが育ちつつあると申せます。

御承知のとおり、きわめて厳しい行財政事情のなかで、今や地方自治体にとって「知恵くらべ」の時代であり、経営的な感覚が強く求められています。本年も創意をこらし、農林水産業や商工業の発展、福祉の充実に更に努力し実行して参りたいと思っております。

また、本年はいよいよテクノポリスも動き始めますし、折から熊本を舞台にした連続テレビドラマ「宮本武蔵」や小泉八雲を扱った「日本の面影」もNHKで放映されます。この年を「くまもとの年」にしたい、どこに行っても私達が熊本県人であることを胸を張って誇れるような自信に満ちた郷土づくりをしたい—そんな気持ちでいっぱいです。

もちろん、このような県政を進めるについては、文字どおり県民総参加の県政であることが必要であります。県民お一人おひとりの一層の御理解と御協力をおねがいいたします。

## 県政トピックス

効率的県政の確立を  
行政改革第一次報告  
行われる。



五十八年六月に発足した、県内有識者で構成する「行政改革審議会」が、十一月十四日、第一次報告を行った。報告では、二十一事業の規模縮小や見直し、九審議会の廃止等含まれている。今後は、県庁内に設けられている行財政改革委員会が実施方策等について検討し、具体化していくことにしている。

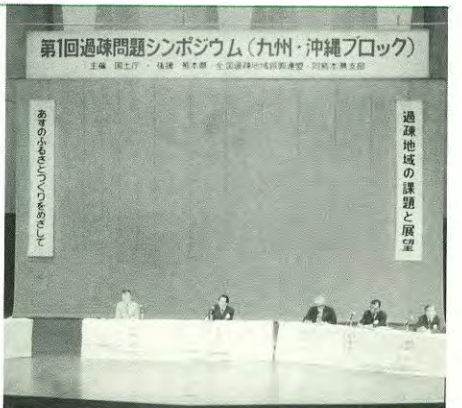
行政改革審議会では、引き続き審議を行い、五十九年五月を目処に第二回の報告を行う予定である。

熊本テクノポリス  
実現へ、  
大きく前進。



県内の産業界・学術機関・行政の代表等にて構成する「熊本テクノポリス建設協議会」の設立総会が十一月十六日、県庁で行われた。これまでの「熊本テクノポリス建設構想起草委員会」と「熊本テクノポリス建設推進協議会」を統合・拡充し、テクノポリスの実現に向け、県民一丸となって取り組む体制が整った。

「あすのふるさと  
づくりをめざして」  
過疎問題シンポ  
ジウム開かれる。



九州・沖縄の過疎市町村が今後の過疎対策を検討する「第一回過疎問題シンポジウム」が十一月二十五日、熊本市の県立劇場で開かれた。「あすのふるさとづくりをめざして」をテーマに過疎に歯止めをかけるため、自治体の事例発表や学識経験者による政策アドバイスがあり、熊本県からは、球磨郡球磨村三浦村長の「過疎と観光」というテーマでの発表があった。

世界人権宣言  
35周年を記念して  
街頭啓発



昨年は、世界人権宣言が国際連合で採択されてから三十五周年にあたった。

県では、人権週間（十一月四日—十日）を前に、十二月三日熊本市内で、関係機関と共催で街頭啓発を実施した。熊本副知事らが啓発物品等を配布し、県民に対して、人権意識の普及、高揚を呼びかけた。

駐日英国大使  
夫妻来熊



サー・ヒュー・コータツツイ駐日英国大使夫妻が十二月七日から九日の三日間本県を訪問。殉教の歴史に特に関心を持つ大使は、天草の大江天主堂、殉教公園、天草キリシタン館等キリスト教ゆかりの地や熊本市内、阿蘇を視察された。

また、かねてから親交の深い細川知事を県庁に表敬訪問。なごやかな一時を過ごされた。

同大使夫妻の来熊は任期中二度目。



「障害者の日」を  
記念して、賑やかに  
「希望のつどい」  
開かれる。

「完全参加と平等」をスローガンに、十一月九日、熊本市の県立劇場で障害者の日制定記念「希望のつどい」が開催された。

この集いは、十二月九日を障害者の日として定着させようと二昨年から始まったもので、歌や演奏のほか、テーマソング「希望の歌」の発表も行われ、参加者は、楽しいひとときを過ごした。

甘夏ミカンの果汁  
缶詰、全国へ販売！



全国一の生産量をほこる甘夏ミカンの果汁と缶詰が、UCC上島珈琲のルートを通じ全国販売されることになった。

県下の甘夏ミカンは、水俣・芦北地域を中心に約九万五千トン生産されているが、販路拡大のため、知事が要請していたもの。十二月十二日UCC上島社長が県庁を訪れ、正式に決定した。